

竹野地域小中一貫校 開設準備委員会だより



第2号
2023.09.25 発行

学校種別は「義務教育学校」

豊岡市竹野地域小中一貫校開設準備委員会(以下、「準備委員会」という。)で協議をすすめている施設一体型小中一貫校(竹野中学校の敷地に新たに小学校の校舎を整備する計画)について、9月22日に開催された教育委員会会議で、学校種別を「義務教育学校」とする方針が決定されました。

義務教育学校は、小学校と中学校が協力して9年間の系統性や連続性に配慮した教育を実施するために、2016年度から制度化された新たな学校種です。2016年に全国で22校の義務教育学校が開校して以来、年々増加しており、2022年時点では178校が開校しています。豊岡市では、竹野地域の義務教育学校が市内で初めての開校となります。

※ 義務教育学校については、裏面のQ & A「義務教育学校って?」をご覧ください。

保護者説明会

2023. 07. 24 (MON)

準備委員会で協議をすすめている施設一体型小中一貫校について説明会を開催し、保護者を中心に55名の参加がありました。説明会では、学校種別を「義務教育学校」としたいこと、またそこで目指したい姿として、①9年間の連続性を生かした小中一貫教育、②広い年齢間交流による情操教育や多様な考え方があることの学び、③教職員組織の一体化によるメリットを生かした取組みなどを説明し、意見交換を行いました。

※ 保護者説明会の資料と意見交換・質疑の記録は、市のホームページで公開しています。

第3回 準備委員会

2023. 08. 30 (WED)

市役所竹野庁舎で、第3回準備委員会を開催しました。

保護者説明会の結果を受けて、前回(第2回)に引き続き学校種別について協議し、準備委員会として、学校種別を「義務教育学校」で進めていくことを確認しました。

今後は、新しい学校で目指す子どもの姿や竹野独自の特色ある教育内容、校名、校歌など、重要な項目について、義務教育学校だから出来る取組みと課題を共有しながら、3つの部会を組織して協議・検討をすすめます。

分科会やワークショップには、保護者や児童生徒にも参加してもらい意見交換をする予定です。

▼準備委員会組織図

竹野地域小中一貫校開設準備委員会【全体会】

- 学校種別の検討 ●校名・校歌・校章の検討 ●施設整備の内容確認 など

学校応援部会

- コミュニティスクール
- 地域関連行事
- 開校関連行事 など

PTA分科会

- PTA規約
- 制服・学用品 など

教育課程検討部会

- 目指す子ども像
- ブロック制(学年段階)
- 9年間の教育課程
- 特色ある教育 など

ワークショップ開催

【委員以外の保護者も参加】

指導運営部会

- カリキュラム
- 校則・教育目標
- 教科担任制
(前期・後期課程連携)
- 異学年交流
- 学校行事
- 部活動 など

※ワークショップへの参加は、学校等を通じて後日ご案内します。

**Q** 義務教育学校とはどのようなものですか？

A 義務教育学校は、小学校入学から中学校卒業までの9年間の義務教育を一貫して行う新たな学校の仕組みのことです。前期課程が1～6年生、後期課程が7～9年生で、9年間の修業年限と教育課程が設けられます。前期課程では小学校、後期課程では中学校で学ぶ内容に沿った教育を行います。学年の呼び方も変わり、中学1年生のことを7年生と呼びます。

Q 義務教育学校と従来の小中一貫校は何が違いますか？

A 義務教育学校と小中一貫校の大きな違いは、小学校と中学校の間に区切りが「ある」か「ない」かです。義務教育学校は、ひとりの校長先生とひとつの教職員組織で運営され、小学校と中学校の区切りがないため、従来の6-3制（小学校6年間、中学校3年間）に縛られる必要がありません。そのため、柔軟に学年段階を設定する（例：4-3-2制の場合は初等4年・中等3年・高等2年のように、心身の発達状況にあわせてブロックを分ける）ことができます。

Q 義務教育学校にはどんな良いところがありますか？

A 義務教育学校は、2022年時点で全国に178校あります。制度を導入した学校では、一般的に次のような効果があることが認められています。

- ◎相互乗り入れ授業（中学校の先生が前期課程の授業を担当して、より専門的な指導を行い、小学校の先生が後期課程の授業を担当して、より丁寧な指導を行うこと）の導入など、子どもの発達段階やレベルに応じて柔軟に指導ができる。
- ◎中1ギャップの緩和や解消が見込める。
- ◎異学年交流を実施しやすい。
- ◎先生同士で児童生徒の情報を共有しやすく継続的な指導ができる。

Q 義務教育学校になると、先生の数が減ることはありませんか？

A 義務教育学校になっても、小学校と中学校でそれぞれ定められている教職員の定数はそのまま、先生が減ることはありません。義務教育学校は校長先生が1名になりますが、かわりに教頭先生が3名配置されます。

Q 義務教育学校になると、学校行事はどうなりますか？

A これまで小学校・中学校で行われてきた行事を生かしつつ、義務教育学校の良さを生かせるような工夫をしていきます。運動会や遠足は、学年の組み合わせを工夫して幅広い学年交流を行います。修学旅行や自然学校などの宿泊学習や、トライやるウィークなどの職業体験学習も引き続き実施します。入学式と卒業式は、1年生の入学式と9年生の卒業式のみになりますが、かわりに、ブロックの最終年度に修了式等の行事を実施している学校があります。

